

第3回 利根町小中学校適正配置等調査検討委員会 議事録（要旨）

1. 日 時 平成30年3月29日（木） 13:30～17:10
2. 場 所 学校視察（布川小学校，文小学校）
利根町役場4階A会議室
3. 出席委員（8名）
会 長 岡 賢市 副会長 川村 啓三 委 員 中澤 則明
委 員 船川 京子 委 員 大竹 正人 委 員 近藤 敬一
委 員 仲田 義弘 委 員 川村由紀夫
4. 欠席委員（2名）
委 員 大越 伸江 委 員 花嶋 洋子
5. その他出席者 な し
6. 事務局
学校教育課長 寺田 寛，指導室長 直井 由貴
学校教育課課長補佐 大越 克典
学校教育課課長補佐 河村 明
学校教育課係長 布袋 哲朗，学校教育課主査 大貫 浩希
7. 会議次第
 1. 開会
 2. 学校視察（布川小学校視察→文小学校視察）
 3. 会長挨拶
 4. 事務局説明・意見交換
 - （1）第3回検討委員会資料
 1. 布川小学校及び文小学校の整備状況について
 2. 学校施設整備事業費借入償還金額一覧
（平成29年度末現在）
 - （2）次回の日程について
 4. その他
 5. 閉会

8. 議事

1. 開会

○事務局 本日は、お忙しい中、お集まりいただきまして有難うございます。

定刻となりましたので、ただいまより第3回利根町小中学校適正配置等調査検討委員会を開催いたします。

本日の行程説明

2. 学校視察

布川小学校視察（午後1時45分から午後2時30分まで）

↓

文小学校視察（午後2時45分から午後3時30分まで）

↓

役場4階A会議室（午後4時から）

3. 会長挨拶

○会長 皆さん、こんにちは。

「年々歳々花が咲き、人が変わり」と言いますけれども、花がきれいに咲いていて、ここで会議をしているより花見をしていた方がはるかに良いかもしれませんが、きょうは学校訪問をしていただいて有難うございました。

会議で説明を聞くのと実際に見るのでは、大分違っていたと思いますけれども、学校訪問の感想を述べていただけたらありがたいと思いますので、よろしく願いいたします。

きょうは、この後も会議が入っているということなので、皆様のご協力をどうぞお願いいたします。

4. 事務局説明・意見交換

○事務局 ここからは、会議の進行を岡会長にお願いしたいと思います。

○会長 それでは、皆様のご協力を得まして進めていきたいと思えます。まず、事務局の方から会議資料の説明をお願いいたします。

○事務局

第3回会議資料の説明

1. 布川小学校及び文小学校の整備状況
2. 学校施設整備事業費借入償還金額一覧
(平成29年度末現在)

○会 長 ありがとうございます。ただいま事務局から説明をいただきましたけれども、この説明等に関して、何か質問がありましたら、最初にお受けしたいと思います。

○委 員 学校施設整備事業費の借入償還金残額となっておりますが、そのまま学校として使っていく場合には、特に返済の義務は無いということですか。

○事務局 学校としてそのまま使用していく場合には、このまま返済していくということになります。利用しなくなった学校については、一括償還することになります。

○委 員 他の公共施設に使う場合にも、このままの金額が残ることですか。

○事務局 目的が学校施設として使用するということで借入をしておりますので、学校として使用しなくなった場合には、公共施設で使用しようが一括して返済しなければなりません。

○委 員 旧東文間小学校の建物はどうなっているんですか。

○事務局 小学校の機能を外しておりますので、借入償還金につきましては、返済済みとなっております。

ただ、国の補助をいただいて建てた学校施設ですので、校舎であれば鉄筋コンクリートだと60年間使わなければならないので、その見合い分の補助の割合は残っているので、別の施設として使う場合には、国で算定した金額を義務教育基金のほうに積みなさいということになります。

○委 員 学校の機能は果たさないけれども、学童で使用した場合はどうなりますか。

○事務局 学校の施設ではないので、他の施設に使用する場合と同じになります。

○会 長 他にありませんか。
それでは、事務局の説明に関しては、皆さんご理解をいただけたと思いますので、本日の学校訪問で気がついたこと、あるいは、何か感じたことがございましたらお願いいたします。
文小学校からお願いいたします。

○委 員 自分でも想像しながら視察をさせていただいたんですけども、仮に小学校と中学校を一緒にすることはできないと思うんですけども、将来的に一緒にするとしたら教室の数的に文小学校かなと思ったんですが、規格が違うという問題もありまして、小学校と中学校を別々にするのであれば、どちらかという布川小学校のほうが直した年度が新しいので良いのかなと思います。
スクールバスの運行を考えましても、校舎裏にバスターミナルが設置できるのかなとも思いました。

○委 員 難しいなと思いました。
事前に資料をいただいていたので、借入償還金残額を頭に入れながら視察に行ったんですけど、実際に布川小学校は本当にきれいで、お金もかかっているし、でも、文小学校のほうが広いし教育環境的には良いのかなという印象もありましたし、後ろの校舎もきちんとしないといけないのかなという印象がありましたので、学童保育は別にして、どちらとも言えないと思いました。
これからまた、自分の時間で、子供たちの将来的な人数とか地域のこととかを見ながらと思いました。

○委 員 確かに、同日に行ったら、改修している学校としていない学校では、あまりにも違いが感じられますね。

○委 員 そこまで考えなくても良いのかも知れませんが、統合したあと、負の遺産になることに対する不安がものすごくあ

ります。

○委員 布川小学校はとても新しく良いんですが、文小学校は近辺に公民館、図書館があるので、場所的には良いのかなと思います。

いろいろな人に聞いたりすると、学校は地域的な拠点でもありますし、避難場所にもなっている訳で、それを潰してしまうと東文間小学校もそうですが、機能しなくなってしまう。出来るだけ分散している方が良いことは良いのかなと思います。

蒸し返しになってしまいますが、まだ不明な部分があって、一応、統合の方に進んで行っているんでしょうけれども、児童生徒数の減少については、以前説明してもらいましたが、けれども、「本当にもう統合しなければいけない」というのは何年先なのかというふうに思っています。だから、早急に3校を1校にしてしまうというのも、どうなのかなとも思っています。

こういうのは、PTAとか全員にアンケートとかをする必要は無いんでしょうか。

いま、保護者の一部の意見として、全体的に学校の先生とか保護者の方にどういうふうに統合した方が良いのかアンケートとかをしても良いのかなと思っています。

○会長 この委員会は、アンケート等実施を委員会として具申して、教育委員会が実践することになると思いますのでどんどん意見を出していただけたらと思います。

○委員 「全部調ったから移行しましょう。」というのではなく、出来るだけ3校の状態を保てれば地域のことも含め一番いいのかなという意見もあって、PTAの全員からアンケートをとったほうが良いのかなという意見もありました。

本当にゆくゆくは統合しなければならぬのはわかるんですが、統合しなければならぬ限界の時期は何年先なのと思っています。

○会 長 最初に議論したように、適正規模ということでやりましたよね。適正規模というのは、文部科学省も茨城県も学級の編制する時に、複数学級あってクラス替えができて人間関係を深めることができる適正規模の中でということになりますよね。

○委 員 現時点では、下回ってますよね。実際、文間小学校は1学年1クラスですときて、逆に今のほうが増えているんですよ。適正規模の観点からは下回っているんで、今、統合しなければならないんでしょうけれども、地域的な拠点ということを考えれば、維持できるところまで3校を残した方が良いのかなという意見もあつたりもします。

○会 長 そういう意見を出していただいて良いと思います。
問題は、統合したあと、残った小学校をどうしようかということがありますよね。やっぱり1校1校残しておいた方が良いという意見もあると思います。

○委 員 今のままだと、平成35年の文小学校1年生はすごく少なくなってしまう、学区割を工夫して3校に分けたとしても、その後1,2年後には厳しいのかなと感じます。残せるもなら、地域コミュニティの拠点にもなりますので、残したいのは山々なんですけどどうなのかなと思います。

○委 員 もえぎ野台の子供たちの半分が文間小学校に行っていて、文小学校に半分行っています。文小学校の人数が少ないから文間小学校に行っている子供が文小学校に行ったらどうなるだろうか。自治会としては、子供たちが2つに分かれていることは非常に辛いことでもあります。ですので、もっと大きく考えていただければと思います。

○会 長 いずれにしても平成37年度以降は1つにしないといけないのかなと思います。

○委 員 それくらいが限度でしょうね。

○会 長 地域の学校を捨てがたいというのは、利根町だけでなくいろいろな県でも起っています。長野県あたりは、先生方が教育内容を徹底的に変えて学校に転校してこられるようなことをやって、ある村では成功した例がありますので、小さくなったからダメということではありませんが、ただ、社会に出たときに、できるだけ大勢の人たちと接して、これからの社会は人間関係が広まって大きく成長させていくとしたときには、大規模的なところで生活したほうが良いのかなと思います。

○委 員 やはり一長一短あると思います。また、地域のつながりとかあると思うんですが、子供たちのために何年後には一つにするということを決めたうえで話し合いをしないと、なかなか地域思いが出てきて揺らいでしまうので、一つにするには何処にするという気持ちで議論しないといけないのかなと思いました。

○委 員 布川小学校のほうでは、グラウンドが広く子供たちがのびのびと生活を送れますし、文間小学校は、地域の方とのつながりが強く、なくなると寂しくなりますし、文小学校は図書館に近く非常に良い場所にあり、それぞれバランスが取れていると思います。子供が少なくなってそれを超えて一つにしていこうというのは、非常にハードルが高いのかなと思いました。地域の思いとか良い点、悪い点を整理して進めていかないと統合は難しいと思います。感情論とかありますので。

あと、小中連携とかいった場合には、中学校に近い方がやりやすいのかなと思いますし、教育環境からすると、文小学校は、公民館、図書館といった公共施設もありますし良いのかなと思います。

もえぎ野台とかは徒歩で行けますので、スクールバスも少なくて済むのかなと思います。

文小学校の施設にもう少し手を入れれば、文小学校が最適なのかなと思いますが、前の校舎と後ろの校舎では大分差がありますので、費用面がどうなのかなと思います。

○会 長 学校というのは地域のシンボルでもあり、文化の中心でもあった訳ですから、それがなくなるということになれば地域の人たちの寂しさというのがあると思います。学校がなくなった後のビジョンをつっておかないと、ただ統合するだけではなくて、廃校後はこういう形で残しますよということで、地域の皆さんで活用してくださいといったこともこの委員会で話を進めていくことが大事なことはないかなと思います。そういう意見もだしていただければうれしいと思います。

○委 員 残った学校の活用は非常に難しいですね。

○委 員 私が勤めていた学校は、小学校と中学校が隣どうして9年間ずっと一緒だったんです。1学年3クラスぐらいありましたので、同じメンバー中学に進学してもそんなに問題はありませんでした。小学校から中学校に進学した時も部活動とかありましたので、新しい人間関係ができたり、心配はありませんでした。

ですので、利根町の場合にも特に問題はないと思います。

問題がこじれた時には確かに厳しいところもあろうかなと心配もございますが、お互いの図書館を交流したり、特別教室を使用したり、中学校の先生が小学校で教えたりと問題ばかりではないのかなと思います。

先ほど図書館とか公民館が近くにあったほうが利用できて良いという話がありましたが、図書館の話をしますと、学校とネットワークで繋がっていて、図書館の本も借りられましたので、そういったネットワークを構築してもらえればクリアできると思います。

また、公民館の利用についても、教育委員会のほうでバスを出していただいたりすればクリアできると思いますので、不都合のないように配慮していただけたらと思います。

○会 長 現状においての布川小学校の良さ、文小学校の良さは、他にありませんか。

○委員 子供たちの繋がり，連携，小中連携，保護者の思いなどできるだけ配慮していただけたらと思います。

○委員 平成35年度には，現実には子供が42人になってしまうんです。これは動かしがたい現実だと思うんです。

そんなに早急にするべきではないと思うんですが，平成32年には文小学校の1年生が9人なんです。そのときの対応は，統合に向けて進むに当たって，教育委員会で調整はしていただけたと思うんですけど，入学間近になって子供が少ないから対応するのではなく，常に2年先，3年先，5年先を見据えながらやっていかないと影響を受けるのは子供たちなのかなと思います。

施設を見てきた感想とは別なんですけど，統合に向けて，施設を何処にするのかを早い時期に目指すべき方向は決定付けていった方が，全体的にいろんなことがでてくる中で望ましいと感じました。

予算は予算で大事なんですけど，一番大事なのは現場で学ぶ子供たちだと思うので，予算のことは置いておいて，子供たちが学ぶに当たって周りの環境とか中学校やいろんなものとの兼ね合いの中でどうしていったら良いのか，大事なことを秤にかけながら決定していかないといけないのかなと思っています。

○会長 きょう視てきて，もし布川小学校にしたとすると加納新田の子供たちはどうなるんだろうか，文間小学校にしたとすると布川の子供たちはどうなるんだろうか，地理的な関係から考えた時に，いろいろ大きな問題がでてくることは事実ですよ。間の文小学校あたりが良いのかな。

仮に，利根町にたった一つの小学校，たった一つの中学校しかなくなったとしたら，できたら小学校と中学校が近くにあって町の中心部にあるのが理想ですよ。

加納新田の方から布川小学校に来るのは大変だと思うので，そういうことも踏まえて，子供たちの立場に立って考えるのが大事なことです。

きょうは学校を視て、本当に悩んでしまいました。視ないほうが良かったかもしれません。

○会 長 きょうの狙いは学校訪問だったんですが、具体的には、既存の小学校を使うようにするのか、あるいは、新しく校舎を建てる方向に進めて良いのか、事務局としては、3校の中の1校に絞ってほしいという意見のほうが強いのでしょうか。

○委 員 そこが当然決められないところなので、年限的に、猶予はいつまでなのか。先ほど委員さんからもありましたが、平成35年度ぐらいを統合の目安ということを検討において、それに向かってどうするかということなんですか。

○委 員 平成35年度の42人というのが限界だと思います。

○委 員 平成35年度が限界で、統合ということを考えると3校の中の1校に絞るしかないということですよ。

○委 員 一番良いのは、もし可能なのであれば新築で校舎を一番良いところに建てられれば良いでしょうけれども、お金がないということであれば、2つ残った学校を再利用というか、それによって収入を得られるという方法はないのでしょうか。

もし、2校ないし3校を活用していくらかでも収入が入るんだったら、新築も可能なのかなと思ったんですが。

○会 長 統合した跡地とか校舎も十分に考えて話し合いをしないといけないですね。

活用については、地域との関わりとか非常に大事になってきますのでそういう意見もだしていただきたいと思います。

3校の中の1校に絞っていく方向で話し合いを進めて行きますが、この件は非常に重要なので、次回も引き続き話し合いをしたいと思います。

○委 員 新しい学校ができるのが一番うれしいと正直思います。

多分、国の補助率なんかも一番かなという気はするんですけど、かなり厳しいとは思うので、例えばあたらしい校舎を建てたときに、概算で良いので費用の情報をいただきと思いますので、よろしくをお願いします。

○事務局 試算をさせていただいて、お示ししたいと思います。

○会 長 先ほどもお話をさせていただきましたが、この件につきましては、非常に重要だと思います。ですので、次回も引き続き話し合いをして、ある程度方向付けをしたいと思いがいかでしょうか。

【全員賛成】

次回の日程について

○事務局 次回の日程
平成30年5月2日（水） 19時00分から

5. その他 な し

6. 閉会

○事務局 それでは、第3回利根町小中学校適正配置等調査検討委員会を開会いたします。
本日は、誠に有難うございました。